

平成 30 年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	3年間の目標 (平成29年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>①従来の学科の教育課程を適切に進行管理するとともに、新学科の策定した教育課程を円滑に推進する。</p> <p>②国際科・理数科を引き継いで普通科において外国語や理数教育を重視した教育を行い、生徒の一層の学力向上を図る。</p> <p>③外国につながる生徒の受け入れ・支援体制を整備する。</p>	<p>①及び②ICTを効果的に用いる方法や主体的・対話的で深い学びのための授業作りに全ての教科・教員で取り組む。</p> <p>③外国につながる生徒への支援を円滑に実施する。相模原青陵高等学校との再編統合に向けて、円滑に業務を進める。</p>	<p>①及び②ICTの活用促進とプレテストを踏まえた授業・試験の研究などの授業改善の取組みの共有と研究を進める。また、国際科・理数科の取組みを授業や普通科行事等に引き継ぐ。</p> <p>③個別対応授業・補習・相談などを担当者間で情報共有しながら実施するとともに、他校の取組みの研究や支援団体との連携を行う。相模原青陵高等学校と協力して備品・書類等の受け入れ準備やCEMLA事業等を進める。</p>	<p>①及び②生徒による授業評価の項目4(生徒主体の授業の工夫)における「4かなり当てはまる」の回答率40%以上となったか。また、教科・個人での取組みの共有と研究を実施できたか。国際科・理数科の継承を円滑に実施できたか。</p> <p>③外国につながる生徒への支援の共有をしつつ適宜改善を進められたか。相模原青陵高等学校との連絡・調整と校内での検討を行い、再編統合への業務を進展させることができたか。</p>					
2 生徒指導・支援	<p>①部活動加入者の向上と生徒会活動の活性化を図り、豊かな人間性と社会性の涵養を図る。</p> <p>②生徒一人ひとりに対してきめ細やかな支援や指導を行い、心身の健全な育成をめざす。</p>	<p>①部活動や学校行事への積極的参加を促し、生徒が充実して学校生活を送れるよう取り組む。</p> <p>②生徒が安全・安心に学校生活を送るために、交通安全指導や、いじめを許さない環境づくりに取り組む。</p>	<p>①部活動や学校行事において、生徒の充実した活動が計画的にできるようグループ・顧問会議等で検討する。</p> <p>②相模原市の新条例施行を踏まえて、交通安全指導を実施する。また、改定した「学校いじめ防止基本方針」等に基づき、多様な生徒によりきめ細かな支援や指導を行うとともに、定期的にアンケートを実施し把握に努める。</p>	<p>①生徒の充実した活動が計画的かつ適切に運営できたか。また、普通科の部活動加入率の向上が図れたか。</p> <p>②新条例を生徒・保護者に周知し、全教職員で交通安全指導を行い、生徒の交通安全に努めることができたか。また、「学校いじめ防止基本方針」等を教職員に周知し、いじめを許さない環境づくりを行うことができたか。</p>					

3	進路指導・支援	<p>①各学科の特色ある教育を基に、生徒一人ひとりの個性や能力を伸ばし、国公立・難関私立大学への進学をめざす。</p> <p>②特に専門学科においては、専門課程にふさわしいキャリア教育により支援していく。</p>	<p>①生徒個々の進路希望の実現をめざし、進学指導の充実を図る。</p> <p>②入試改革の動向を踏まえ、キャリア教育プログラムの改訂を進め、生徒の主体性を伸ばすための探究活動の充実をめざす。</p>	<p>①模擬試験等のデータ分析を活用するとともに、安易に推薦に流れないよう進学の目的を明確に持たせるよう指導を行う。</p> <p>②入試改革の動向を周知するとともに、各学科・教務と連携し、新入試への対応を進める。</p>	<p>①センター試験・一般受験での受験決定率を49.6%から50%以上に、センター試験受験率を52%から60%に増加させることができたか。</p> <p>②新入試への対応が生徒・保護者にとってわかりやすいキャリア教育プログラムに改訂できたか。</p>					
4	地域等との協働	<p>①地域の小・中学校・大学や教育機関等とより一層の連携を図る。</p> <p>②地域との協働を推進し、地域に愛され、信頼される学校づくりを行う。</p>	<p>①地域の小・中学校・大学や教育機関等とより一層の連携を図る。</p> <p>②地域の自治会・公民館等と情報交換を行い、地域との協働を推進し、地域に愛され、信頼される学校づくりを行う。</p>	<p>①弥栄トリニティや各種行事、部活動、海外姉妹校受入れ事業などにより、積極的な連携を行う。</p> <p>②地域清掃、ふれあいコンサート、オーストラリア姉妹校受入れ事業などを実施する。</p>	<p>①学科や部活動などの特色を活かした連携を実施し、地域貢献ができたか。</p> <p>②地域清掃、ふれあいコンサート、オーストラリア姉妹校受入れ事業等に参加し、地域に望まれる交流をすることができたか。</p>					
5	学校管理 学校運営	<p>①緊急時に対応できる防災教育・安全教育を学校全体で推進する。</p> <p>②教職員の資質の向上に常に努め、事故・不祥事防止に繋げる。</p>	<p>①学校の防災対策ならびに施設面での安全性の向上を図る。</p> <p>②私費の会計処理の点検がスムーズに確実に行われるようにする。</p>	<p>①生徒の主体的な防災訓練を継続する。避難所初期対応について具体的な対応マニュアルを作成する。設備の安全状況を再点検し改善を図る。</p> <p>②私費の会計のマニュアルを改訂し徹底する。</p>	<p>①生徒の防災意識の向上が図れたか。避難所初期対応についての具体策が作られたか。施設の安全性の点検が十分にできたか。</p> <p>②私費の会計処理の手続きや点検に関して改善が見られたか。</p>					